

関東地方に飛来している仲間たち

兵庫県では、2005（平成17）年からコウノトリを野外へ戻す「試験放鳥」が始まりました。
 関東地方では、千葉県野田市が、2015（平成27）年からコウノトリを放鳥しています。
 渡良瀬遊水地では、野田市で2016（平成28）年に放鳥された「ひかる」（J0128・オス）と
 徳島県鳴門市で生まれた「歌」（J0181・メス）のペアから、2020年にヒナが生まれました。
 残念ながら、「歌」は左脚のケガが原因で死んでしまいましたが、2021年には「ひかる」と
 「レイ」（J0238・メス）の新しいペアから、ヒナが生まれています。
 野生のペアからヒナの誕生が確認されているのは、東日本では渡良瀬遊水地だけです。

写真提供：青木 章彦さん、内田 孝男さん
 出典：兵庫県立コウノトリの郷公園「足環カタログ」

